



2025 年 5 月 13 日

各 位

会 社 名 オ カ モ ト 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長執行役員 岡 本 邦 彦
(コード番号：5122 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 田 中 祐 司
(TEL 03-3817-4121)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要について

当社は、企業としての持続的成長には柔軟かつ機動的な意思決定とともに、コーポレートガバナンスの強化が重要であるとの認識に基づき、これを担う取締役会の運営実態と問題点の把握、改善策の実施等適切な措置を講じていく継続的プロセスにより取締役会全体の機能向上を図るため、取締役会の実効性に関する分析及び評価を実施しております。

この度、2024 年度（第 129 期）の分析及び評価を完了いたしましたので、その結果概要を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 評価の方法

(1) アンケートの実施

全取締役（監査等委員を含む）に対して自己評価の趣旨等を説明の上、取締役会での議論に基づいて決定した以下の項目を内容とするアンケートを実施いたしました。

- ① 取締役会の規模・構成
- ② 取締役会の運営
- ③ 取締役会の機能
- ④ 監査機関・社外取締役との連携
- ⑤ 株主・投資家との関係、市場動向
- ⑥ その他（自由記述）

アンケート結果を集計し、取締役会において「取締役会の実効性に関する分析及び評価」を行いました。

(2) 評価方法

- ① 調査は記名方式とした。（但し議論では匿名性を維持）
- ② 評価尺度は５段階評価とした。
- ③ 集計は社内取締役と社外取締役を区分して実施した。

- ④ 分析は、評価の絶対的に低い項目、社内取締役と社外取締役の評価結果のギャップの大きい項目、昨年度調査結果との顕著な変化のある項目について重点的に実施した。
- ⑤ 評価・分析結果を取締役会に開示し、議論を実施した。

2. 評価結果及び今後の課題

(1) 評価結果

当社の取締役会は、全体において概ね適正に機能しており、取締役会全体の実効性は確保されていると判断いたしました。

昨年度の調査において継続的に取り組むべき課題とした項目のうち、以下の点については一定の改善効果が認められました。

- ・ 取締役の「スキルマトリックス」「候補者選任」等についての議論の拡充
- ・ 適切なリスクテイク及び攻めのガバナンス実現に向けた取締役の報酬体系の議論の拡充
- ・ 株式市場動向並びに株主及び投資家の評価・意見等についての情報共有

(2) 認識した課題

今後において引き続き継続的に取り組むべき課題としては下記の事項があるとの認識を共有いたしました。

- ・ 中長期的な視点での経営戦略・投資計画等に関する議論の一層の拡充
- ・ 取締役の「スキルマトリックス」「候補者選任」等についての議論の一層の拡充
- ・ 取締役に必要なトレーニング機会の斡旋や支援の拡充

(3) 今後の対応等について

当社取締役会は、今回の評価を踏まえ、今後も取締役会での議論を更に充実させ、取締役会の実効性確保に一層努め、より充実したコーポレートガバナンス体制の構築と更なる企業価値の向上を目指してまいります。

以上